



日本骨髄バンクの現状（平成 22 年 1 月末現在）

	12 月	1 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,816	2,708	354,777	454,593
患者登録者数	221	232	2,563	29,455
骨髄移植例数	107	87	-	11,372

■20 歳未満のドナー登録者数

1 月 113 人
合計 11,542 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

1 月新規 90 人
延長 300 人
合計 17,391 人（17 年 9 月～）

■1 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／771 人、献血併行型集団登録会／1,830 人、集団登録会／38 人、
その他／69 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 末梢血幹細胞移植（PBSC T）の導入について

1 月の常任理事会において、そのための診療報酬が認められた場合に来年度の PBSC T の導入方法をどうするかについて議論され、平成 23 年 1 月に最小限のシステムを整備して小規模で立ち上げ、その後拡大する方向となりました。しかし、診療報酬が認められた場合には、平成 22 年度のできるだけ早い時期に導入を図れるように最大限の努力をすべきであること、平成 23 年 1 月以前に手作業で実施することによって、その評価の上にシステムを導入する方がより確かな導入となること、以上の 2 点から、本年 10 月から開始できるかどうか検討をしています。この点について、2 月常任理事会で審議される予定です。

2 第 7 回「PBSC Tに関する委員会」の開催

1 月 24 日に第 7 回目の「PBSC Tに関する委員会」が開催されました。

末梢血幹細胞（以下、PBSC）の凍結について、以前の審議では、細胞数が少ないケースがあるため、一定の条件を満たせば移植施設判断で凍結を認めるとされていましたが、採取した細胞数が少なくても生着しないとはいえないという解析データが示されたことから、「原則として凍結は行わない。ただし、患者にとって最適な移植希望日とドナー・採取施設の調整が不可能な場合などにおいては、審査の上その可否を決定する」とされました。

続いて「骨髄提供・PBSC 提供の選択決定方法について（ドナーの意思決定）」を再審議し、ドナーの自由意思尊重と情報を知る権利を考慮し、ドナーが患者の要望を知りたいかどうかを聞いて希望があれば伝えることが適当であるとされました。ただし、患者の要望は変わる可能性があるので、併せて両方の可能性を説明することとしました。

PBSC の運搬については、採取が 2 日間にわたった場合、移植施設の担当者による運搬体制を整備することには困難が伴うこともあり、安全性が認められる場合には運搬業者への委託も認めることとし、財団は運搬業者が行う運搬についてガイドラインを検討することとされました。ただし、凍結を行わない場合は、2 日間それぞれ受け取りに行くか、2 日目にまとめて受け取るかは、移植施設の移植計画や体制によるため、移植施設と採取施設間で協議の上決定することが現実的であるとされました。

また、施設認定のあり方は、移植をするなら採取も行うギブ・アンド・テイクの考え方を前提とす



るが、将来的には施設の実情を考慮して、骨髄採取を主体とするか P B S C 採取を主体とするかといった分化も検討すべきであるとされました。

さらに、「ドナー手帳の発行」および骨髄を含めた長期のフォローアップのあり方について、学会と調整を図りつつドナー安全委員会等で検討すること、ドナー手帳を交付することになった場合は、学会との共同発行を検討することとされました。

審議の詳細については、財団ホームページにアップされる議事録をご参照ください。以上の審議を踏まえ、次回第 8 回本委員会において答申案が審議される予定です。

3 日本造血細胞移植学会総会 & コーディネーターブラッシュアップ研修会

2 月 19 日（金）・20 日（土）の 2 日にわたり、静岡県浜松市の「アクトシティ浜松」で「第 32 回日本造血細胞移植学会総会～移植医療の選択：Evidence vs Prospect～」が開催されます。20 日（土）には第一会場の大ホールで「市民公開講座～より良い移植医療・より良い治癒～」が開催され、こちらは一般の方も無料でご参加いただけます。

※詳しくは学会のホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/32jshct/>

また、学会に併せて「第 15 回コーディネーターブラッシュアップ研修会」が開催されます。昨年に続いて「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」が行われる他、グループ討議や精神科医師・臨床心理士による講演等が予定されています。

4 骨髄バンク講演会開催を呼びかけるパンフレットを作成しました

財団では、骨髄バンクに関する講演会や学校の授業を推進し、ドナー経験者の方や元患者さんによる語りべ活動を展開していくためのパンフレット「骨髄バンク講演会～いのちのメッセージを届けます～」を作成しました。2月19・20日に開催される、第32回日本造血細胞移植学会総会の財団ブースでお披露目します。

本パンフレットのお問合せは、広報渉外部までお願いします。なお、各ボランティア団体さんにつきましては、後日、広報渉外部よりご連絡させていただきます。

5 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	2月25日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
PBSCTに関する委員会	公開	2月28日（日）10:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
ドナー安全委員会・医療委員会 合同会議	非公開	3月6日（土）10:30～ 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	3月6日（土）12:30～ 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	3月6日（土）13:45～ 廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開・一部非公開	3月11日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

**ドナーコーディネーター関係者のコーナー**

以下は、調整医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

6 確認検査検体の血清量不足について（調整医師の先生方へ）

確認検査時の検体のうち、生化学・感染症検査等に用いる検体（血清）が不足していたため、再度ドナーの方に来院していただき、採血をした事例が2009年6月から2010年1月までに9例起こりました。

今回の事例以外にも生化学・感染症検査等に用いる検体（血清）が不足しているケースが月に10数例あるとの報告を受けています。つきましては、血清分離用スピッツ（茶色のキャップの採血管）には必ず規定量（8.5ml）を採血していただき、血清が3ml以上確保されるようお願いいたします。3月1日以降、上記の内容を記載したチラシを採血管に同封してお届けしますので、調整医師以外の方（看護師等）が採血される場合には、その方にもご周知くださいますようお願いいたします。

7 骨髄採取後、左腸腰筋部位に血腫を認めた事例について（追加報告）

マンスリーJMDP 1月号で「骨髄採取後、左腸腰筋部位に血腫を認めた事例」について健康被害調査委員会の調査結果を報告しました。この内容につきまして、採取をご担当されている先生からご意見をいただきました。健康被害調査委員会へ確認し、検討した結果、追加報告をする事となりましたので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。また、今後は提供できる情報については、公開に努めたいと考えています。

■いただいたご意見

- ・「どの血管だったのか、どの辺りの血管だったのか」は特定できているのではないか。そこを記載してもらった方が良いと思う。
- ・採取部位について、「後腸骨稜から採取すること」と図までつけて書かれているが「今回、どの辺りを刺したのか?」、「後腸骨の上側?下側?」、「骨盤骨を貫通していたのか?」等といった情報を載せるべきではないか。

■ご意見に対する回答

- ・骨髄採取は、後腸骨稜から前腸骨稜方向に移動しながら実施したと考えられます。
- ・採取針の方向については確定できていませんが、血管造影の所見から責任血管は内腸骨動脈腸腰動脈枝と考えられます。内腸骨動脈腸腰動脈枝は腸骨の内臓側を走行している血管であるため、採取針が腸骨を貫通したものと推測できます。



8 連絡事項

◆「検体保存事業への協力のお願い」の一部改訂について

「検体保存事業への協力のお願い」について一部改定を行いました。2月15日（月）以降、順次変更後の帳票をお送りします。すでに送付済みのものについては、差し替えの必要はありません。変更後の帳票見本は今月のマンスリーJMDPに同封しています。

○変更点：「検体保存事業への協力のお願い」2枚目の「4. 提供していただいたデータ・検体はどんな研究に使われるか」に次の説明を追加しました。

※患者さんに対する二次調査の希望があった場合、審査の結果、公益性が高いとされた研究については、骨髄移植後の患者さんに対する二次調査を行うことがあります。ただし、移植担当医師が窓口となるため直接患者さんに問い合わせることはありません。なお、ドナーさんへの二次調査は認めておりません。（二次調査とは、質問項目を追加して調査することを指します。）

◆調整医師委嘱更新手続きについて（調整医師の先生方へ）

平成22年度の委嘱に関しましては、ご多忙のところ書類をご返送いただきましてありがとうございます。なお、まだご返送いただいていない先生方は、お手数ですがお手続きのうえ、施設長の承諾書を2月26日（金）までにドナーコーディネート部までご返送ください。ご不明な点がございましたら、ドナーコーディネート部までご連絡をください。（Tel03-5280-2200）

◆フェンオール社製『ボーンマロウコレクションキット』の販売開始について（事務連絡）

フェンオール社製「ボーンマロウコレクションキット」が株式会社パルメディカルから2月10日より販売開始され、財団に対して同旨の連絡がありました。そこで財団では2月9日に認定施設に対して情報提供を行いました。なお、株式会社パルメディカルでは各施設に対して担当者が同紙の配布を開始したとのことです。詳細については別添資料「ボーンマロウコレクションキットの販売開始について」をご参照ください。

◆コーディネーションスタッフの選考について

1月下旬にコーディネーションスタッフの選考試験が中央事務局で行われました。19人が受験し、厳しい口試等を経て17人がコーディネーションスタッフとして採用されました。また、2人については本人の了解を得て、求人を考慮していた地区事務局員として採用しました。コーディネーションスタッフは3月12日（金）、13日（土）の研修を経て、4月より業務を開始する予定です。本制度の導入により、地区事務局体制の充実や関係者間の連携向上をはかり、コーディネートのより一層の充実を目指します。

◆2月19日（金）休業と緊急連絡先について

第15回コーディネーターブラッシュアップ研修会の開催に伴い2月19日（金）の中央事務局・地区事務局の業務を休ませていただきます。緊急の場合はホットラインに連絡をお願いします。